

CGS - LETTER

Vol.8
2010/9/16 発行

株式会社C&Gシステムズ

<http://www.cgsys.co.jp/>

Contents

1. TOPICS
2. PRODUCT NEWS
3. EVENT NEWS
4. CGS-Customer
5. Other Info

TOPICS

今月号は、ユーザーレポートをお届けいたします。

- ・ユーザーレポート「榎山金型工業株式会社」様のご紹介
- ・CAM-TOOL 認定試験 合格者インタビュー

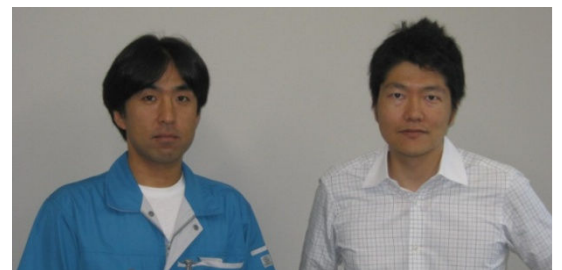
キックオフフォーラムユーザーレポート

「榎山金型工業株式会社」様のご紹介

～ 日本人らしいものづくりを真面目に追及する事でお客様と社会に貢献する ～

CAM-TOOL 認定試験合格者5名を誇る榎山金型工業。CAM-TOOLを11台お使い頂いています。榎山社長とCAM-TOOLオペレータで認定試験合格者のCAM係 主任の山浦様に会社の概要やCAM-TOOLの使い方についてお聞きしました。

開ロー番榎山社長より「最近の仕事が薄くなったとか、型費がさらに安くなったって話をしようか？」・・・同苦笑いの中からのインタビュースタートとなりました。



山浦主任

榎山社長

一 小・中型の金型を中心にさまざまな金型製作を展開

榎山社長：

元々は「エムケーカシヤマ」と言うブレーキパーツを製造する会社の金型部門が独立してできた会社です。1977年の創業ですが実際にはそれ以前から金型には携わって来ました。設立当初はプレスで金型をやっていましたが、徐々に化粧品の容器など外観を得意とするように変わって行きました。

また、複数分散していた工場を2002年に現在の1工場に統合し現在では、携帯電話の外装の仕事が5,6割で、その他自動車関係、OA、医療機器など成型機で言うと、30tから350tクラスまでの小・中型の金型をメインに製造しています。



榎山金型工業株式会社
所在地 : 長野県佐久市小田井1119
TEL : 0267-68-0505
URL : <http://www.mkg.co.jp/kanagata/>

― 金型以外のサービスを付加することで顧客を支援

社長：

毎年、設備投資を継続的にやっていますが、去年はワイヤーカット、今年は安田工業製の『YMC430』というリニアの工作機械を設備しました。また、金型製作に付いても単に金型を顧客に納めるだけでなく、インサート成形に使うインサートする板金等も当社で調達を行い、樹脂金型とインサート板金をセットで顧客に納めたり、金型以外の部品加工を行うなど、顧客サービスの幅を広げています。



携帯金型

― 仕事におけるこだわりは？

社長：

精密加工にこだわっています。我が社の製品はそれほど深モノやアンダー形状は無いので、5軸の必要性は今のところ感じていませんが、3次元のモデル形状をその通りにしっかり加工する事はとても難しいものだと思っているし、事実難易度は高いです。

また、最近の携帯電話成型用の樹脂はバリが出やすい樹脂が多いので、とても加工がデリケートになります。いかに正確に精密な加工ができるかの勝負ですね！だから、お客様の要望通りに加工するという意識は当然社員全てに浸透しています。

僕は他社のCAMも使ってみよう！って言うのですが（笑）うちの社員たちはCAM-TOOL以外のCAMを使いたがりません。本当にいい製品を生み出す為には自動的に出るパスではなく、工夫したパスが必要で、その工夫したパスを出す為にはCAM-TOOLが最適だと考えているからだと思います。



ダイヤカット

― テンプレートとツーリングDBを活用して工数を削減

山浦主任：

僕は入社して13年ですが、CAM-TOOL PAX以降ずっとCGSさんのCAMを使ってきたので、他のシステムを使ったことがないんですよ（笑）

いつもバージョンアップは楽しみにしていますが、最近で言えばテンプレートでしょうか？

電極作成で10パターンくらい用意していて誰でも使えるようにしています。

電極オプションソフトも全てのCAM-TOOLに入っていますが、導入前と比べるとかなりの工数削減につながっていますよ。揺動代も簡単に付けられるのでとても便利です。

また、Version5でリリースされた工具DBにうち独自の条件を付加して工具発注書を出力しています。簡単に説明すると、工具発注システムを作りまして、CAM-TOOLの加工指示書をcsv出力して読み込ませています。正直、それまでの工具DBは使いにくかったのですがV5で一気に便利になりました。そしてV6.1のツーリングDBでさらに便利になりました。主要工具は全てお気に入り登録して使っています。検索なども簡単で今一番「お気に入り」の機能になっています。（笑）

だけど、一番嬉しかったのはUNIX版からWINDOWS版に変わった時ですね！このタイミングで加工指示書が手書きから、EXCELに変えることができた。今では自分たちでマクロを勉強して、加工原点の相違や工具、ピッチなど登録ミスをチェックする機能を付けたのでケアレスミスが激減しました。

究極を言えば、形状さえ間違えなければ確実に加工が行えるところまで高めたいと思っています。だからCAM-TOOLにはどんどん進化を続けて欲しいですね！



R0.15エンドミル仕上げ



榊山金型工業様のホームページ

ー CGSに期待すること ～ソリッドモデラーベースのCAM-TOOLに期待

社長：

CGSさんに対しては今のところ無いですね。切削を分かった上でパスを出してくれるCAM-TOOLの良さは期待通りです。うちのオペレータがCAM-TOOLのパフォーマンスを発揮しているか？使いこなせているのか？そちらが知りたいですね。（笑）

山浦主任：

ソリッドモデラーベースのCAM-TOOLが欲しいです。今のサーフェイスの精度を保てるという条件が付きますが（笑）。うちの場合、高精度が基本ですし大型の金型も無いので今の加工精度は絶対に落とせません。だけど、ソリッドの方が後工程に渡しやすいし、電極設計もソリッドの方が分かりやすいと思います。仮に別システムで稼働するような仕組みであれば、シームレスに動いてくれたらそれで良いとも思います！

ー 金型の品質を重視しなければ、日本のモノづくりそのものの地位が下がる

社長：

金型価格がこの1～2年で急激に下がっています。グローバルな競争になるのは当たり前で、それ自体に対して不満はないですが、単純な価格のみで国内企業と海外企業を比べるのはフェアでは無いですね。金型自体の品質・鋼材の質・部品の質・量産段階での問題の有無等、本当に海外企業が同等であるならば、更に国内企業は努力をしなければなりません、モノづくりの重要な部分を重視せず、価格のみで発注の判断をすることは、日本のモノづくりの地位や日本メーカーの製品自体の地位を自ら下げる事になると思います。

我々は、市場に出る前のお客様のデータを扱いますから、社内セキュリティには万全の注意を払っていますし、金型の検査履歴もすべて取ります。いい金型は量産でお客様に価値を産み出しますので、是非日本の金型を使って貰いたいと思います。

ー CGSより

榊山金型工業様には多大なご協力をいただき、ありがとうございました。

榊山金型工業様の今後ますますのご発展をお祈りします。また私どももそのお手伝いが出来るシステムの開発に引き続き精進したいと思います。



「CAM-TOOL 認定試験」 合格者紹介

～6月に実施いたしました、『第8回 認定試験』合格者のインタビューをお届けいたします。～

カムクラフト株式会社 様

合格おめでとうございます！！。



飯本 悟 様

— CAM-TOOLをはじめ、CGS製品のご使用歴をお聞かせください。
toolsから使用し、約2年くらいになります。

— 受験しようと思われた理由をお聞かせください。
システムサポート業務を通じて、お客様からの更なる信頼をいただくため
何がわかっていないのか、どのような知識が必要なのかを再度確認し、
自身のスキルアップのために受験しようと思いました。

— 試験準備をどのように進められましたか。
業務で使用してる機能もゆっくり丁寧に見直しました。また、普段あまり使っていない機能については、それぞれのコマンドで出来ること出来ない事を再確認し、
トレーニングテキストやヘルプファイルを読み直して、モデリングやNCデータの出力で知識を広げました。

— 試験内容はいかがでしたか。時間的には十分でしたか。
筆記試験は難しく感じました。改めて問われると迷う問題が多かったです。
普段の作業では深く意識して操作していないので、わかったつもりになっていることが多かったと実感できました。実技試験では普段の業務と同じような流れで
解答できました。システム設定や変換パラメータなどの問題を先に解答すると時間配分がしやすいのではないかと思います。私は途中の問題で時間が掛かりすぎて
1問を残して試験時間の終了となりました。時間の掛からない問題から順番に解いていけば時間が不足することはないと思います。

— 会社紹介
弊社は、CAD/CAMシステムの販売とサポート、NCデータ作成支援やイントラネット構築の業務などを行っております。
2軸から5軸のNC加工を行ってられる、さまざまなお客様のご要望にお応えできるよう日々、技術の向上を心掛けて仕事に取り組んでおります。
私は今回の認定試験の受験をするということで、いい緊張感をもって改めて学習が出来ました。
これからも、CAM-TOOLでノウハウの蓄積や加工技術の向上をめざし常にお客様に満足していただけるより質の高いサポートを提供できるように努めていきたいと思います。



《会社概要》

カムクラフト株式会社

所在地 大阪市北区豊崎2-11-1 西部ビル4F

TEL 06-4802-3660

FAX 06-4802-3661

主な事業内容

CAD/CAMシステム販売・サポート及び運用支援業務

URL <http://www.camcraft.co.jp/>

「CAM-TOOL 認定試験」 合格者紹介

株式会社エフエーシステム 様

合格おめでとうございます！！。



湯本 哲平 様

— CAM-TOOLをはじめ、CGS製品のご使用歴をお聞かせください。

CAM-TOOLを使用して1年半になります。その前は調理現場でコックをしていました。

— 受験しようと思われた理由をお聞かせください。

「自分の力が、世間一般、客観的にみてどのくらいか推し量るためです。」と言いたのですが、会社強制です。（笑）

— 試験準備をどのように進められましたか。

受験すると決まってから勉強しました。仕事の空き時間を利用して、テキストを読み返し、ヘルプで細かいところを確認しました。（CAM-TOOLのテキストやヘルプはしっかりしてると思いますよ）また、講師やサポートと、普段の業務で教える立場にあったことも優位な点でした。

— 試験内容はいかがでしたか。時間的には十分でしたか。

筆記試験は、正直「そんなところまで出るの!？」と細かいところで難しく感じました。実技試験は、冷静に考えれば筆記試験ほど難しくはなかったです。最初の図面からモデルにおこすモデリング問題をみて、「時間がかかるな」と判断し、とばしてCAMの問題を解きました。最終的に「モデリングをやろう」と思ったところで、試験時間が残り5分でしたので、結果解答できませんでしたが、あと15分あればやれたかなと思います。全体的に難易度は高いと感じました。

— 合格しての感想

「認定試験に合格した人のCAM-TOOLの説明はこんなもんか!」と思われたい様にしなければならない、ということで身の引き締まる思いです。合格の副賞で頂いたCAM-TOOLの腕時計は早速明日から身に着けたいと思います。今回の試験で自分のスキルアップにもなりました。ありがとうございました。

— 会社紹介

弊社では、CAD/CAMシステム及び工作機械の周辺機器販売・サポートを行っております。お客様に対してより良い商品・サポートをご提供できるよう社員一丸となって取り組んでおります。今回の認定試験の合格は、サポートを行っていくうえで自信になりました。今後はより一層、講習・サポートに力を入れていきます。自分のサポートがお客様に満足して頂けるよう今後とも努力してまいります。



《会社概要》

株式会社エフエーシステム

所在地 群馬県伊勢崎市三室町5982番地1

TEL: 0270-63-3336

FAX 0270-63-3558

主な業務

- ・ 工作機械の周辺装置の販売とメンテナンス
- ・ 樹脂、ダイカストの金型設計支援
- ・ CAM-TOOLをはじめとしたシステム販売及び、講習・技術サポート

EVENT NEWS

日時	展示会・セミナー情報	関連製品
10月28日～ 11月2日	『 JIMTOF2010 第25回日本工作機械見本市 』 【主催】 社団法人 日本工作機械工業会 【会場】 東京ビッグサイト	NeoSolid / EXCESS-HYBRID AIQ / CraftMILL / CAM-TOOL
10月14日～16日	『 モノづくりフェア2010 』 【主催】 日刊工業新聞 【会場】 マリンメッセ福岡	NeoSolid / EXCESS-HYBRID AIQ / CraftMILL / CAM-TOOL
9月17日～18日	『 グランドフェア2010 』 【主催】 河内鋼機株式会社 【会場】 河内鋼機 本社ショールーム	NeoSolid / EXCESS-HYBRID / CAM-TOOL



小間番号 東5ホール E5019

～ 詳細は次号でご紹介いたします。～

CGS-Customer

サポートサイトからのお知らせ

- ◆ **CAM-TOOL 情報**
工具カタログ／ハードウェア情報を 8月23日に更新いたしました。
Version up Webセミナーだいま準備中。
- ◆ **NeoSolid 最新版リリース情報**
《NeoSolid.3D-CAM&S-Subset 》
NeoSolid.3D-CAM&S-Subset Ver15.0 CutNo,2010/0802 を8月6日にリリースいたしました。

《NeoSolid.Mold (SW2010-SP4.0版) 》
9月1日にリリース致しましたNeoSolid.Mold Ver2010.40.11.1において、不具合が確認されたため、
9月6日にVer2010.40.12.1として再リリースしております。

《NeoUtility (SW2010-SP4.0版) 》
9月6日にVer 2010.1.31.1をリリースいたしました。
- ◆ **EXCESS-HYBRID 最新版リリース情報**
8月2日にリリース致しましたEXCESS-HYBRID Ver3.8.1.1 において、不具合が確認されたため、
8月5日にVer3.8.1.2 として再リリースしております。

Other Info

CGS-LETTER 新規購読のお申し込みはオンラインで

「CGS-LETTER」では、弊社イベント情報、トピックス、導入事例、新製品紹介等を、毎月配信いたします。また、ご登録の方でCGS製品ご利用のユーザー様につきましては、製品のアップデート情報やテクニカル情報をお届けする「CGS-Customer」を併せて配信いたします。

<http://www.cgsys.co.jp/jp/index2.html>

※本資料の一部または、全部を著作権法の定める範囲を超え、無断で複写、複製、転載、ファイル化する事を禁じます。

CGS-LETTER に関するお問い合わせはこちらまで

〒150-0013 東京都渋谷区恵比寿1-19-15 ウノサワ東急ビル4F

株式会社C & Gシステムズ CGS-LETTER 事務局 Tel: 03-5793-5330 Mail: letter@cgsys.co.jp